

経営方針

校訓

明るく 強く 豊かに生きる

実践要目

いろいろな人や環境を受け入れ、自ら目的の実現に向けて行動し、思いを伝え、多くの人とふれあいながら、社会に向かって発信する児童生徒を育てる。

～ほおずり ゆさぶり よびかけ ふれあい～

教育目標

創意工夫ある教育活動を通して、児童生徒一人一人の育成すべき資質・能力を伸ばすとともに、個々の児童生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって「生きる力」を育む。

「生きる力」を育むに当たっては、学校教育を通じて身に付けた知識及び技能を活用しながら、健康で、豊かな心をもって主体的に生きていこうとする児童生徒を育てる。

めざす児童生徒像

- 明るく笑顔あふれる児童生徒
- 新たな環境を受け入れ、粘り強くチャレンジする児童生徒
- 生命や人権を尊重する豊かな心をもつ児童生徒

めざす学校像

- 安全安心に学べる学校
- 児童生徒の可能性を最大限に引き出す学校
- 保護者や地域から信頼される学校

めざす教職員像

- 児童生徒に心から寄り添う教職員
- 専門性を高め合い、児童生徒の模範となる教職員
- 「チーム長特」の一員として、相互に連携しながら一丸となって取り組む教職員

経営方針

- (1) 全教職員は融和協力して教育目標の達成を図り、活気ある校風の樹立に努める。
- (2) 児童生徒が自立し、社会参加するために必要な力を身に付けさせ、一人一人の実態に応じた進路実現を図る。
- (3) 児童生徒の教育的ニーズに応える専門性の高い指導や支援の充実に努める。
- (4) 命と人権を守り、安全安心な医療的ケアの実施に努める。
- (5) 児童生徒が学校教育を通じて身に付けた力を活用する機会を設けたり、生涯学習への意欲を高めたりして、生活の質（QOL）の向上につながる豊かな教育を推進する。
- (6) 地域における特別支援教育のセンター的な役割を担うとともに、本校の教育に関する情報発信や理解啓発の取組を積極的に行い、社会に開かれた学校づくりを推進する。
- (7) 児童生徒が安全に安心して生き生きと学ぶことができる教育環境（施設・設備）の整備・充実に努め、かつ法令等を遵守した適正かつ円滑な事務処理の遂行に努める。

各部のめざす姿

【小学部のめざす姿】

- 学習の中で身に付けた力を発揮しながら自らの生活をよりよくし、学ぶ楽しさを味わうようにする。
- 自分でいろいろなことに取り組み、生活の中での経験を通して、興味関心をもち、社会参加の素地となる力を高めることができるようにする。
- 身近な大人や友達と関わる中で、思いやりの心を育てるとともに、身近な人に自分の気持ちを伝えることができるようにする。

【中学部のめざす姿】

- 学習の中で身に付けた力を精一杯発揮しながら自らの生活をよりよくし、達成感や充実感を味わうようにする。
- 新しいことにも意欲的に取り組み、生活経験を拡大しながら興味関心を高め、社会参加に必要な力を身に付けることができるようにする。
- 自分のことや友達のこと、身近な人や生物を大切にし、他者の気持ちを考えながら、自分の思いを伝えることができるようにする。

【高等部のめざす姿】

- これまでの学習で身に付けた力を、自信をもって発揮しながら卒業後の社会生活に向けて自ら発信したり行動したりできるようにする。
- 困難なことにも最後まで粘り強く取り組み、地域で生活していくことに興味関心を広げ、社会参加に必要な力を高め発揮することができるようにする。
- 周囲の人との関わりを深める中で、他者と協力しながら役割を果たすことができるようにする。

今年度の重点目標

- (1) 各教科の指導においては、目標や内容を踏まえた実態把握を行い、適切な目標設定と学習評価に努め、充実させる。
 - 単元計画表を用いた目標、評価、授業計画、授業改善などの検討や共有を行い、より児童生徒の実態に応じた分かりやすい授業作りに努める。
- (2) 児童生徒のニーズに応じたキャリア教育の充実を図る。
 - 各学年や各部に応じた系統性のあるキャリア教育、進路指導ができるように、ねらいや年間計画の見直しを行い、授業に活かす。
- (3) 一人一台タブレット端末の活用の充実を図る。
 - 児童生徒の発達段階を考慮して、ICT 機器等の活用において、教科等横断的な資質・能力の育成に努める。また、教職員のタブレット端末の活用については、児童生徒の特性を考慮し、教育効果を引き出せるよう指導に活かし、授業の充実に努める。
- (4) 社会に開かれた特別支援学校を推進するための情報発信を充実する。
 - 地域の資源を活用しながら、身近な地域に対する理解を深めるための学習活動を充実させ、生涯にわたって社会の一員としての必要な力を身に付けさせる。
- (5) 生涯を通して主体的に学んだりスポーツや文化に触れる機会を設けたりする。
 - 特別活動や休み時間等を活用し、余暇への興味・関心を引き出せるように努める。